資料 1-3

平成 29 年度第 1 回
健康いわて 21 プラン分析・評価専門委員会の実施状況報告について

１　概要

(1)　開催日時　　平成 29 年 6 月 21 日（水）18:00～19:30

(2)　開催場所　　岩手県庁 12 階特別会議室

(3)　出席委員　　10 名中 8 名

２　協議内容

「健康いわて 21 プラン（第 2 次）の中間評価・見直しについて」

分野別総合評価（参考資料１）及び目標項目の個別評価（参考資料２）により事務局から説明、委員から意見をいただいた。

３　主な意見について

(1)「全体目標」及び「Ⅰ主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底」

○　全体目標

・県では、毎月 28 日を「いわて減塩・適塩の日」と定めて脳卒中予防や啓発の取組をしているが、「適塩」は県民向けのメッセージとして不適切であり、見直しを検討するべき。

○　がん分野

・ピロリ菌と胃がんとの関係があるので、「ウィルス感染」を「細菌・ウィルス感染」に見直しをしてはどうか。

○　脳血管疾患・心疾患分野

・関連した取組に禁煙キャンペーンがあるが、取組を進めて欲しい。

(2)「Ⅱ栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善」

○　栄養・食生活分野及び休養分野

・労働時間の問題「ワークライフバランス」の考えが出てきて、国の施策等取組が進められている。栄養・食生活分野で「家族で食事を共にする機会」に関する目標値があり、労働時間が長くなっている社会背景の中で「家族で食事を共にする機会」は減っている。何も取組をしないとこのまま「家族で食事を共にする機会」が減少していくのではないかと危惧している。今後の改善の手がかりとなるようなコメントを記載して欲しい。

○　身体活動・運動分野

・関連した取組の「健康運動指導者講習会」と記載されているが、健康運動指導士、健康運動実践指導者という資格があったように思う。講習会の名称を確認したい。

・評価にかかる二つ目のコメントの書き方について、男性の結果より女性の結果が良いので男性の結果より女性の結果を前にもってきた方が流れとしてはわかりやすいのではないか。

○　口腔の健康分野

・国のプランでは、QOL の向上に寄与する、ヘルスプロモーションとしての口腔保健の位置づけということで、「60 歳代における咀嚼良好者の割合の向上」が最上位のアウトカムにきている

ことから、県の目標値項目の順番も口腔分野の一番上位とし、今後の課題等考察して欲しい。

(3)「Ⅲ社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上」、「Ⅳ健康を支え、守るための社会環境の整備」、「Ⅴ東日本大震災津波の健康づくり」

○　こころの健康分野

・今後の課題のなかに、ストレスチェックを実施する職場（事業所）の数を増やすことを入れると数値化しやすいのではないか。岩手労働局から聞いた情報だと、昨年、50 人以上の事業所はストレスチェックすることが義務化されたが、100%しなければならないにも関わらず、平成 29 年 2 月段階で県内の状況は 50%（届け出がだされたもの）程度と聞いた。

・ストレスチェックは休養分野とも関わりがあり効果があるので、今後の解題の一つとしてストレスチェックについて記載することも一つと考える。

○　高齢者の健康分野

・今後の課題の一つ目、効果があると考えられていてもまだはっきりエビデンスが出ていない「認知機能」の部分は文章から除いた方が良いと考える。認知機能を含めて「高齢者の生活低下防止」と記載した方が良い。

・今後の課題のなかで「フレイル」という言葉が使われているが、疾病と別の概念であるためこの場の文言としては使われるは不適切ではないか。

○　東日本大震災津波の健康づくり

・今後の課題の二つ目、コホート研究により、高血圧、糖尿病、脂質異常が増加について記載されていますが、われわれの研究で突然死や心不全が増えていることも論文化しているので付け加えて欲しい。

４　今後の対応について

県（本庁・保健所）、市町村及び関係機関・団体を対象とした「健康いわて 21 プラン（第２次）」に係る活動状況調査（推進体制、活動状況、取組状況）結果等を分析・評価専門委員会で協議し、健康いわて 21 プラン（第 2 次）の中間評価・見直し作業を進めていく。